

放課後子ども教室だよ

いわしろ子ども教室訪問

令和3年10月22日(金)訪問

| | | | |
|-------|--------------------------|-------|--|
| ○開設年度 | 平成27年 | ○スタッフ | 地域学校協働推進員：1名 協働活動指導員：3名 協働活動サポーター：3名 |
| ○活動場所 | 二本松市立小浜小学校 | ○活動内容 | 工作や折り紙などの造形活動 季節行事等 |
| ○実施回数 | 15回 | | |
| ○実施時間 | 30分 金曜日 (14:30~15:00) | | |
| ○参加者 | 対象学年：1~3年生 登録児童数：9名 | | |

短い時間楽しさいっぱい!

いわしろ子ども教室は、1~3年生の9名の子どもたちが参加しています。当初は4年生も対象とする予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり密を避けるために今年度も3年生までの活動としたそうです。

教室では、子どもの計画性を大切にしています。活動時間が30分間のため、子どもたちは本日の活動「小物入れ作り」に真剣に取り組み完成させ、残った時間で宿題を行っていました。

限られた時間の中で活動を終えるために、スタッフは事前にペットボトルを加工しておき、時間内に作成が終了できるように工夫しているとのことでした。

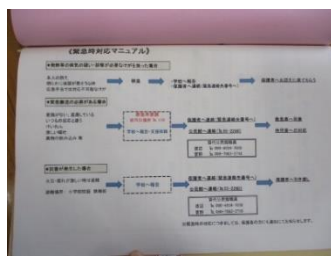
子どもたちは、集中して学習や工作に取り組んでいました。どの子も飾り付けを工夫して、世界に1つだけの素敵な小物入れを作成したり、自主的に宿題に取り組んだりしていました。スタッフは、その様子を優しく見守り必要に応じて支援をしていました。

教室終了後は、テーブルや道具を消毒し、スタッフ全員で次の活動内容についての相談や準備をします。経験豊富なスタッフの話し合いの中で、子どもたちが喜びそうなアイデアがどんどんでてきます。スタッフにとって準備する時間も楽しみの一つになっているそうです。

スタッフの協力体制が十分であることが感じられた訪問でした。



<小物作りに取り組む子ども>



<緊急時対応マニュアル>



<宿題を行う子ども>



運営上の一工夫

子どもたちが時間内に活動が終わるように、あらかじめスタッフが材料を加工し、作業を進めやすくしています。

聞いてみました!

子どもたちの感想

- 教室だと集中して宿題や学習に取り組むことができるので、家に帰ってから時間を自由に使えるのがうれしい。(3年生)

スタッフの思い

- 子どもたちが笑顔でうれしそうに活動する姿にエネルギーをもらっています。(協働活動サポーター)

☆安全管理上のポイント☆

- 新型コロナ感染症対策として、検温と手指消毒、換気を徹底して行っている。
- 検温結果と体調を記入した出席カードにより、子どもの健康状態の把握と体調管理を行っている。
- 教室開始前や教室終了後に次回へ向けてのミーティングで活動上の安全面の配慮について話し合っている。
- 子ども教室独自の「緊急時対応マニュアル」を活用し、緊急事態への対応についてスタッフ全員で共通理解を図っている。